

御代田町 橋梁長寿命化修繕計画 (第3期) 再改訂版



令和6年12月

御代田町 建設水道課

目 次

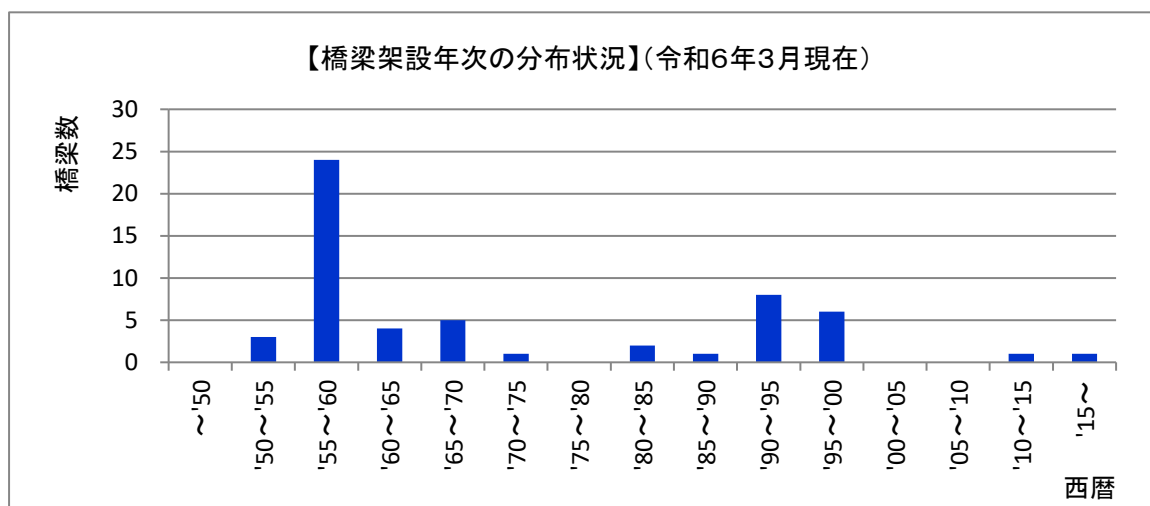
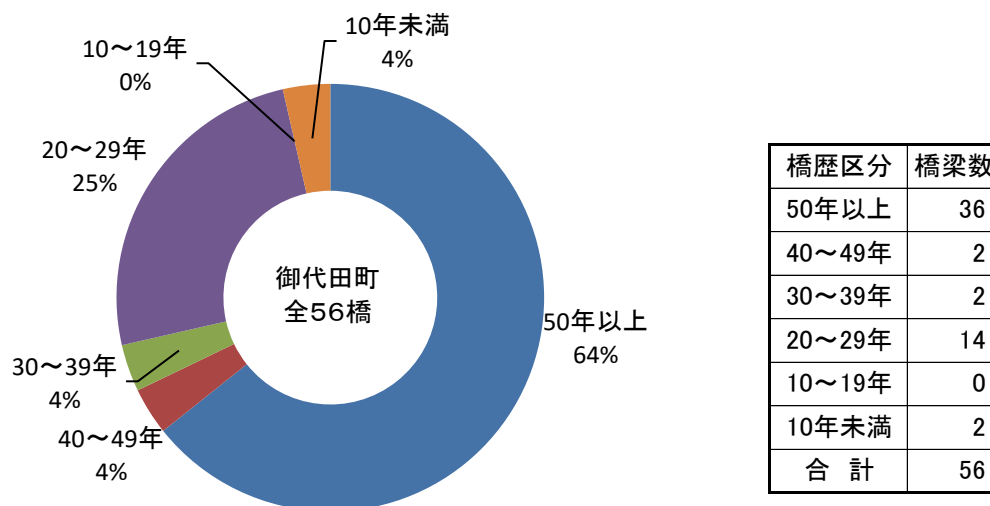
1. 長寿命化修繕計画の目的	-----	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	-----	2
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	-----	3
4. 橋梁の長寿命化及び修繕・架替に係る費用の縮減に関する基本的な方針	-----	4
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期	-----	6
6. 長寿命化修繕計画による効果	-----	10
7. 計画策定部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	-----	10

1. 長寿命化修繕計画の目的

御代田町が管理する橋梁は、令和6年3月現在で56橋あります。この内、建設後50年以上を経過した橋梁は36橋(64%)となっており、さらに30年以上で括れば40橋(72%)となります。したがって、これから20年後にはこれら全ての橋梁が高齢化橋梁に分類されることになります。

こうした状況から、平成31年2月には、第2期の橋梁長寿命化修繕計画を策定して維持管理コストの縮減や平準化を図り、計画的な修繕を実施してきたところです。

今般、前回の計画策定から5年が経過し、さらに「長野県道路橋定期点検要領(令和元年10月)」による新たな点検を実施したことから、第2期の計画を見直し、第3期の「御代田町 道路橋長寿命化修繕計画」(計画期間: 令和6年4月から令和11年3月の5カ年)を策定して、橋梁の長寿命化を効率的に進めることとしました。



■ 第3期計画の概要

第2期修繕計画

1. 橋梁の重要度に応じた維持管理区分の適用
2. 橋梁の健全度と重要度に応じた優先順位付けと計画的な修繕の実施
3. 4段階の健全度評価による修繕計画の策定
4. 日常的な維持管理による予防保全

基本的に
踏襲



第3期修繕計画

1. 橋梁の重要度に応じた維持管理区分の適用
2. 橋梁の健全度と重要度に応じた優先順位付けと計画的な修繕の実施
3. 4段階の健全度評価による修繕計画の策定
4. 日常的な維持管理による予防保全

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

1) 長寿命化修繕計画の対象とする橋梁数

分 類		橋 梁 数	備 考
全管理橋梁数		56	
うち計画の対象橋梁数		56	
うちH31までの計画策定橋梁数		56	
うちR5の 計画策定橋梁数	グループA	15	1級町道、長大橋(橋長50m以上)、 跨線橋、跨道橋など
	グループB	8	2級町道、橋長15m以上など
	グループC	33	その他の町道、橋長15m未満
	合 計	56	

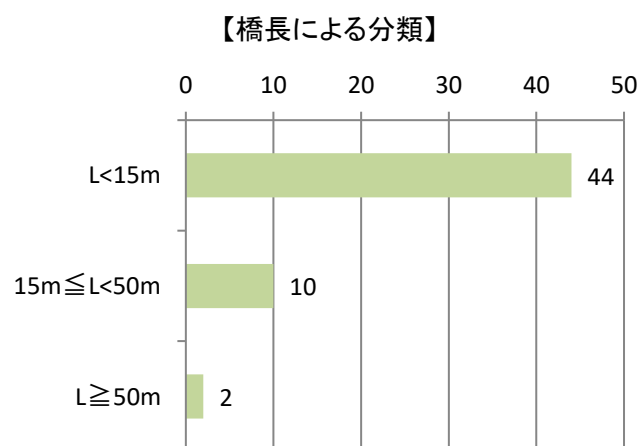
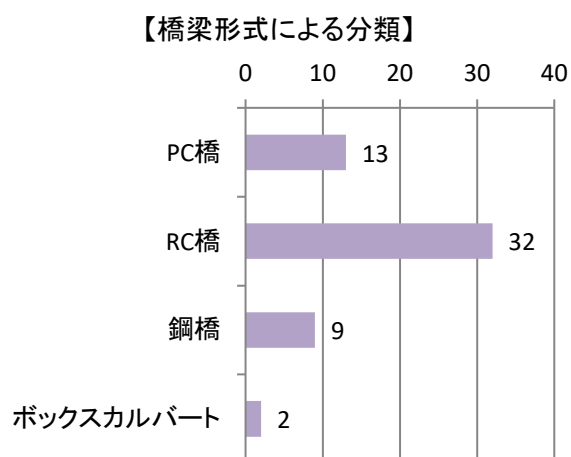
2) 長寿命化修繕計画の対象橋梁について

- 1) 長寿命化修繕計画では、管理橋梁の内橋長2.0m以上の橋(ボックスカルバートを含む)を計画対象とします。
- 2) 管理水準の設定や効率的な維持管理を目指して、グループA、B、Cの3つの区分により維持管理を行います。

グループA	1級町道、長大橋(橋長50m以上)、跨線橋、跨道橋、孤立集落が発生する橋梁など
グループB	2級町道、橋長15m以上の橋梁など
グループC	その他の町道、橋長15m未満の橋梁など

3) 対象橋梁の種別

御代田町の管理する橋梁を、橋梁形式と橋長で分類すると下図に示す分布となります。この結果から、御代田町ではRC橋やPC橋のコンクリート橋が多い傾向にあります。また、橋長15m未満の橋梁が44橋で全体の79%を占めています。

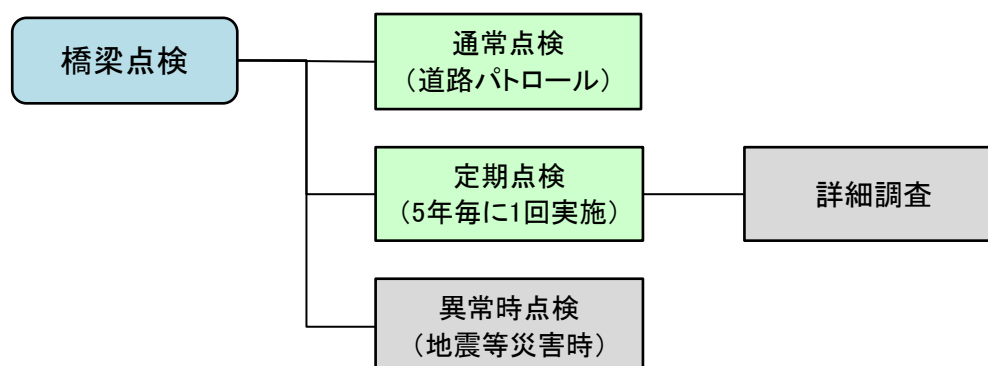


3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握

橋梁の健全度は、5年に一度の定期点検をもとに、橋梁部材ごとに健全性の判定を行うことで把握します。ここで、定期点検は、「長野県 道路橋定期点検要領」(令和元年10月)に準じて実施します。橋梁点検の体系、点検の種類と内容及び健全性の判定区分を次に記します。

【 橋梁点検の体系図 】



【 橋梁点検の種類と内容 】

点検種類	内 容
通常点検	通常点検とは、損傷の早期発見を図るために、道路の通常巡回として実施するもので、道路パトロールカー内からの目視を主体とした点検をいう。
定期点検	定期点検とは、橋梁の損傷状況を把握し損傷の判定を行うために、頻度を定めて定期的に実施するもので、近接目視を基本としながら目的に応じて必要な点検機械・器具を用いて実施する詳細な点検をいう。
異常時点検	異常時点検とは、地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合、橋梁に予期していなかった異常が発見された場合などに行う点検をいう。
詳細調査	詳細調査とは、補修等の必要性の判定や補修等の方法を決定するに際して、損傷原因や損傷の程度をより詳細に把握するために実施する調査をいう。

【 定期点検による健全性の判定区分 】

区 分		状 態
I	健 全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態。

2) 日常的な維持管理

橋梁を良好な状態に保つために、日常的な維持管理として、パトロールや清掃、排水樹の土砂撤去などを行うとともに、損傷の早期発見、早期対応に努めます。

4. 橋梁の長寿命化及び修繕・架替に係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 基本方針

前回の第2期長寿命化修繕計画では、予防保全型修繕計画を策定して維持管理費用の縮減に努めてきましたが、今回もこの基本方針を踏襲して、安全性、信頼性を確保するとともに、トータルコストの縮減を目指します。また、効果の高い新技術・新工法の導入について検討していきます。

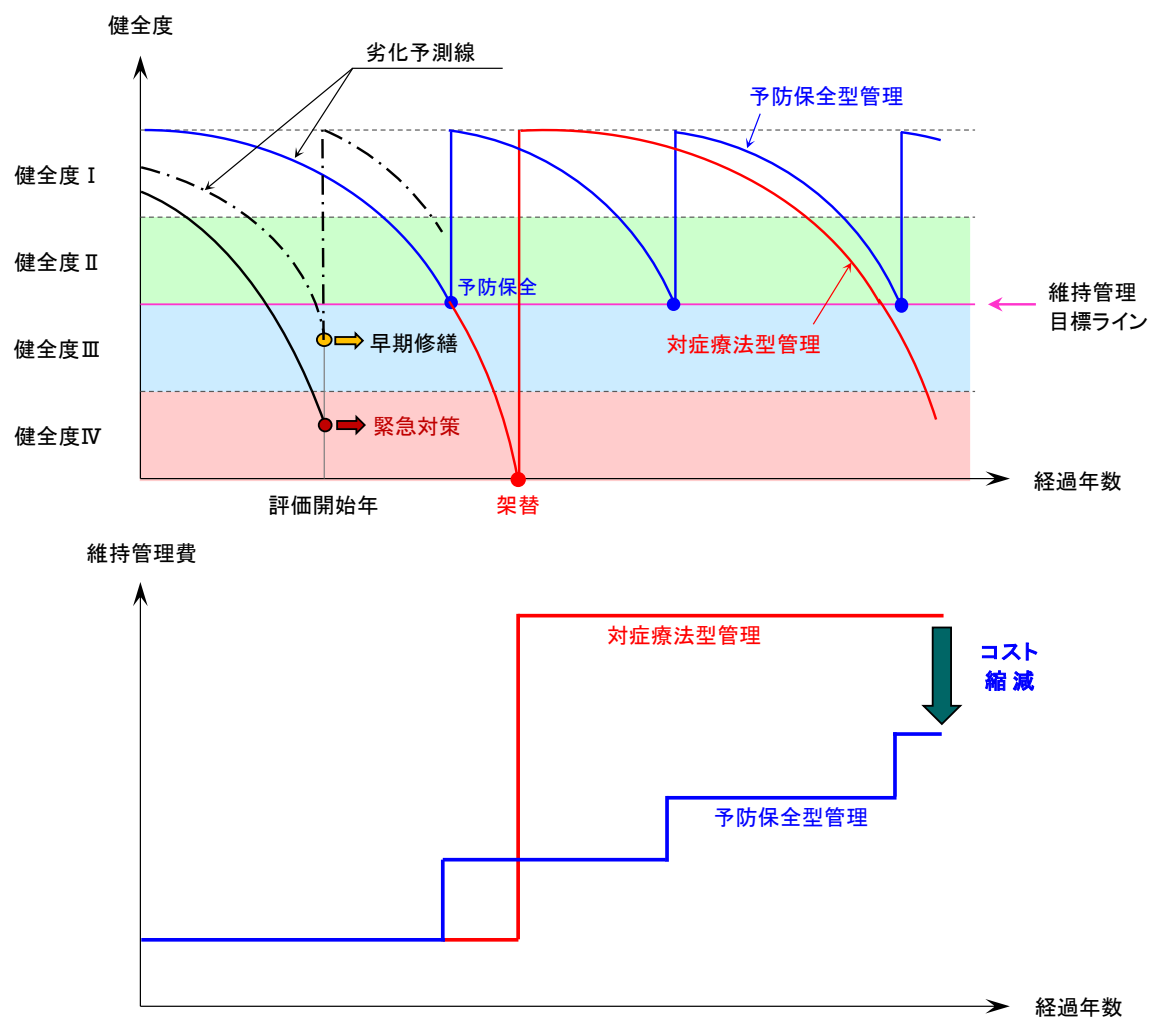
さらに、劣化予測に基づく修繕計画を立案し、地域特性にも配慮した予防保全型管理の実施を徹底することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに修繕・架替に係る費用の増大を抑制します。

2) 維持管理費縮減の具体的なイメージ

従来に対症療法型管理と予防保全型管理によるコスト縮減のイメージを下図に示します。予防保全型管理では、次の①～③で対策を講じます。

- ① 健全度Ⅲに到達する前に予防保全を実施する。
- ② 点検結果が健全度Ⅲの場合、評価開始年から「早期に修繕」を実施する。
- ③ 点検結果が健全度Ⅳの場合、評価開始年から「緊急対策」を実施する（御代田町では該当無し）。

【管理手法による健全度と維持管理費の変移イメージ図】



3) 優先順位の考え方

長寿命化修繕における優先度判定は、次の①～④の指標を用います。

- ①健全度判定 (優先度高 IV >Ⅲ >Ⅱ >Ⅰ)
- ②重要路線 (優先度高 1級町道 >2級町道 >その他町道)
- ③交通量 (優先度高 交通量多い)
- ④橋梁の供用年数 (優先度高 橋梁年数高い)

4) 費用の縮減と縮減目標

定期的な橋梁点検により、劣化が進行する前に状態を把握し、早急な対応(修繕等)を実施することで、予防保全型管理を徹底し、大規模な修繕や架け替えを回避し、コスト縮減を図ります。

これにより、点検対象の橋梁の路線の重要度など に応じた優先度、管理水準を設定しながら、長寿命化修繕計画の計画期間内において、維持管理に係る費用を、全体で約20%削減することを目標とします。

5) 集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減に関する方針

交通量が少なく、迂回路が存在する橋梁は、集約・撤去を実施することで、維持管理費用の縮減を目指します。具体的には「第4児玉BO橋」「第5児玉BO橋」にて検討を行い、10年間の継続管理費用が約4千万円要するところを約3千万円で撤去することで、継続管理した場合と比較して約1千万円の費用の縮減を目指します。

6) 新技術の活用に関する目標

点検については、一般的な点検車の規格では作業範囲外となり、複数の点検手段(点検車＋高所作業車)、(点検車＋ロープアクセス等)が必要となる橋梁において、「点検支援技術性能カタログ」に掲載されているドローンなどの技術を用いて点検費の縮減を目指します。

町が管理している橋梁の中でも長大な「故郷大橋」、「軽井沢大橋」において、従来の点検方法で合計約7百万円要するところを、点検支援技術性能カタログ「BR010043－V0224」などを用いて点検費用を合計約6百万円程度に抑え、10年間で約1百万円程度の費用縮減を目指します。

補修については、御代田町の保有する橋梁のほとんどがコンクリート橋であるため、補修設計・施工の段階において、下記に示すようなNETISに登録されている表面含浸材の採用を検討し、補修頻度を少なくして費用の縮減を目指します。

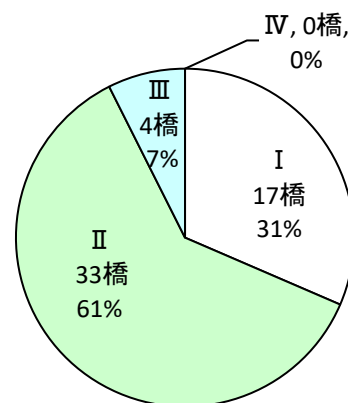
- ①NETIS(QS-180010-A) : U-エルシーワンRSⅡ
- ②NETIS(KT-120118-VE) : コンクリートキーパーneo
- ③NETIS(QS-150019-A) : スーパーシールドなど

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

ここでは、2024年度以降10年間の年次計画を提示します。計画に際しては、これまでの点検結果をもとに計画対象とする橋梁を選定し、予算の平準化等にも配慮します。また、次回以降の点検結果も盛り込みながら5年毎に見直しを行うものとしします。

1) 点検結果の概要

今回の定期点検による診断結果を右図に示します。御代田町では、第2期の長寿命化修繕計画による補修を実施してきた結果、緊急措置段階のⅣ判定は0橋、早期措置段階のⅢ判定は4橋となっています。



2) 計画対象橋梁の選定

計画対象橋梁は、下表による方法で選定します。

※2橋は管理橋梁から除外につき判定無し

対象橋梁の選定方法	対象橋梁数	
	該当橋梁	計画対象
①点検結果の判定がⅢの橋梁は、グループに関係なく計画対象とする。	4橋 内訳(A=4)	
②グループAで判定Ⅱの橋梁は、予防保全の観点から全て計画対象とする。	11橋	
③グループB及びCで判定Ⅱとなった橋梁は、補修の有無や損傷状況、橋梁規模、立地条件などを勘案して計画対象を判断する。	22橋	—
④判定がⅠの橋梁(補修済み橋梁を含む)は、次回以降の点検により検討する(面替1号橋、南浦橋は橋長2.0m未満につき計画から除外)。	17橋	—
合 計 =	54橋	15橋

3) 修繕内容と計画方針

計画対象橋梁は、供用50年程度以上と20年前後の橋梁に大別されます。また、交通量的には、1級町道でも大型車交通量は少なく、疲労損傷よりも経年劣化が支配的と考えられます。このため、次のような補修を中心に修繕計画を立案します。

- ①供用50年程度以上となる橋梁に対しては、構成部材全体に対する補修を考えます。
- ②供用20年程度の橋梁に対しては、劣化部分の補修とともに、年代的に防水層が未設置の時期であることから、防水層設置など排水処理を優先します。
- ③規模の小さな橋梁に対しては、出来る限り単年度での補修計画とし、予算配分の平準化に配慮した計画とします。
- ④補修工事は、2024年度以降に着手するものとしします。

A	15
B	8
C	33

☐ 対象除外

着色部は対象橋梁

	橋梁 番号	橋梁名	竣工年	供用 年数	橋長	幅員	橋種	点検 年度	点検者	点検 判定	補修 等	路線 等級	交差 条件	グル ープ	今回 対象
1	0001	新大谷地橋	1999	24	10.4	17.8	PC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		1級	繰矢川	A	○
2	0002	新三ツ谷橋	2000	23	27.2	17.8	PCT	R04	タイヨー	Ⅱ		1級	濁川	A	○
3	0003	栄橋	2014	9	14.0	14.0	鋼	R05	JRC	Ⅲ		1級	しな鉄	A	○
4	0004	露切橋	1964	59	41.3	7.2	鋼	R04	タイヨー	Ⅱ		1級	湯川	A	○
5	0005	大門橋	1970	53	2.3	5.7	Box	R03	自営	I		2級	用水	B	
6	0006	大谷地1号橋	1959	64	6.6	5.1	RCT	R01	自営	Ⅱ		2級	水路	B	
7	0007	大谷地2号橋	1959	64	6.3	4.6	RC床版	R02	自営	I		2級	繰矢川	B	
8	0008	大谷地橋	1955	68	7.4	4.6	RCT	R04	タイヨー	Ⅱ	補修済	2級	用水	B	
9	0009	第2児玉BO橋	1995	28	12.5	9.0	PC床版	R05	JRC	Ⅱ		2級	JR	A	○
10	0010	第2児玉BOX橋	1995	28	6.7	9.0	RC	R04	タイヨー	Ⅱ		2級	町道	A	○
11	0011	面替橋	1959	64	32.2	5.3	RC	R04	タイヨー	Ⅱ		2級	湯川	B	
12	0012	向原2号橋	1995	28	4.9	3.0	鋼	R02	自営	I		その他	水路	C	
13	0013	向原橋	1965	58	12.5	6.8	PC床版	R05	JRC	Ⅱ		その他	しな鉄	A	○
14	0014	草越1号橋	1960	63	6.9	3.6	RC床版	R01	アンドー	Ⅱ	補修済	その他	重の久保川	C	
15	0015	山田橋	1984	39	3.7	5.5	鋼	R01	自営	Ⅱ		その他	水路	C	
16	0016	西坂橋	1960	63	4.5	3.1	RC床版	R04	タイヨー	I		その他	用水	C	
17	0017	久能沢橋	1960	63	4.5	4.0	RC床版	R03	自営	Ⅱ		その他	久能沢川	C	
18	0018	桐山沢橋	1955	68	5.5	2.9	RC床版	R01	自営	Ⅱ		その他	久能沢川	C	
19	0019	湯川橋	1983	40	33.5	3.8	鋼	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	湯川	B	
20	0020	面替1号橋	1986	37	1.9	4.1	RC床版	-	-	-		その他	水路	C	対象除外
21	0021	籠田橋	1960	63	2.3	4.1	RC床版	R02	自営	Ⅱ		その他	濁川	C	
22	0022	神明橋	1996	27	7.0	1.1	鋼	R02	自営	I		その他	濁川	C	
23	0023	岩下1号橋	1960	63	5.6	2.9	RC床版	R03	自営	I		その他	久保沢川	C	
24	0024	岩下2号橋	1960	63	5.0	3.5	RC床版	R01	自営	Ⅱ		その他	用水	C	
25	0025	第4児玉BO橋	1994	29	18.3	7.2	PC床版	R05	JRC	Ⅱ		その他	JR	A	○
26	0026	第5児玉BO橋	1994	29	18.3	5.2	PC床版	R05	JRC	Ⅱ		その他	JR	A	○
27	0027	第1児玉BO橋	1994	29	12.5	7.2	PC床版	R05	JRC	Ⅱ		その他	JR	A	○
28	0028	第3児玉BO橋	1995	28	17.1	7.2	PC床版	R05	JRC	Ⅱ		その他	JR	A	○
29	0029	故郷大橋	1997	26	190.0	10.8	鋼	R04	タイヨー	Ⅲ		その他	湯川	A	○
30	0030	川原田橋	1975	48	2.5	7.0	Box	R01	自営	I		その他	用水	C	
31	0035	蟻ヶ沢橋	1959	64	10.9	4.1	RC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	用水	C	
32	0036	塩野山橋	1955	68	18.4	4.2	RCT	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	水路	B	
33	0037	西二ツ石橋	1960	63	6.0	4.0	RC床版	R01	自営	Ⅱ		その他	水路	C	
34	0038	戻場橋	1960	63	3.1	3.3	RC床版	R03	自営	Ⅱ		その他	水路	C	
35	0039	道陸1号橋	1959	64	6.6	3.1	RCT	R02	自営	I		その他	繰矢川	C	
36	0040	道陸2号橋	1960	63	6.0	3.1	RC床版	R02	自営	I	補修済	その他	針ノ木川	C	
37	0041	道陸3号橋	1960	63	4.0	3.4	RC床版	R02	自営	I		その他	針ノ木川	C	
38	0042	北久保橋	1960	63	6.6	4.7	RC床版	R04	タイヨー	I		その他	繰矢川	C	
39	0043	針木沢1号橋	1970	53	5.6	3.8	RC床版	R03	自営	I		その他	針ノ木川	C	
40	0044	針木沢2号橋	1970	53	5.5	3.9	RC床版	R03	自営	I		その他	針ノ木川	C	
41	0045	針木沢3号橋	1970	53	5.5	3.9	RC床版	R03	自営	I	補修済	その他	針ノ木川	C	
42	0046	細久保橋	1960	63	6.0	2.4	RCT	R03	自営	I	補修済	その他	繰矢川	C	
43	0047	北側1号橋	1997	26	7.6	6.0	PC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	繰矢川	C	
44	0048	北側2号橋	1997	26	6.7	6.0	PC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	繰矢川	C	
45	0049	東原1号橋	1959	64	8.5	3.4	RCT	R02	自営	I		その他	用水	C	
46	0050	昇龍橋	1995	28	22.6	12.8	PC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	濁川	A	○
47	0051	清万橋	1965	58	14.0	4.5	鋼	R04	タイヨー	Ⅱ	補修済	その他	濁川	B	
48	0052	源平橋	1964	59	16.0	4.1	PC床版	R05	JRC	Ⅲ		その他	しな鉄	A	○
49	0053	向端1号橋	1959	64	4.6	4.3	RC床版	R03	自営	I		その他	用水	C	
50	0054	向端3号橋	1959	64	2.6	3.4	RC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	濁川	C	
51	0055	向端2号橋	1959	64	2.9	3.3	RC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	濁川	C	
52	0056	三ツ谷橋	1959	64	6.5	3.7	RCT	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	濁川	C	
53	0057	南浦橋	1959	64	1.7	2.6	Box	-	-	-		その他	用水	C	対象除外
54	0058	濁川橋	2016	7	5.4	6.3	PC床版	R04	タイヨー	Ⅱ		その他	濁川	C	
55	0059	蛇谷地橋	1959	64	2.3	3.3	RC床版	R01	自営	Ⅱ		その他	水路	C	
56	0061	軽井沢大橋	1969	54	110.0	6.7	鋼	R04	タイヨー	Ⅲ		その他	湯川	A	○
														合計	15

4)修繕計画

No.	橋梁 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	グル ープ	点検年度		点検 判定	対策と点検の時期										修繕内容等		
									西暦	和暦		'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33			
												R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
1	1	新大谷地橋	1級	塩野御代田(停)線	10.4	1999	24	A	22	R04	Ⅱ				点検	補修				点検		ひび割れ注入, 断面修復等		
2	2	新三ツ谷橋	1級	塩野御代田(停)線	27.2	2000	23	A	22	R04	Ⅱ				点検					点検	補修	ひび割れ注入, 断面修復等		
3	3	栄橋	1級	小田井追分線	14.0	2014	9	A	23	R05	Ⅲ				補修		点検					点検	断面修復等	
4	4	露切橋	1級	向原豊昇線	41.3	1964	59	A	22	R04	Ⅱ					点検			補修		点検		再塗装・床版補修等	
5	9	第2児玉BO橋	2級	面替児玉線	12.5	1995	28	A	23	R05	Ⅱ					点検					補修	点検	ひび割れ注入, 断面修復等	
6	10	第2児玉BOX橋	2級	面替児玉線	6.7	1995	28	A	22	R04	Ⅱ					点検				補修	点検		ひび割れ注入, 断面修復等	
7	13	向原橋	その他	向原11号線	12.5	1965	58	A	23	R05	Ⅱ				補修		点検					点検	ひび割れ注入, 断面修復等	
9	25	第4児玉BO橋	その他	児玉唄坂線	18.3	1994	29	A	23	R05	Ⅱ						点検				補修		点検	ひび割れ注入, 断面修復等
10	26	第5児玉BO橋	その他	児玉唄坂線	18.3	1994	29	A	23	R05	Ⅱ						点検					補修	点検	ひび割れ注入, 断面修復等
11	27	第1児玉BO橋	その他	側道大塚東林線	12.5	1994	29	A	23	R05	Ⅱ						点検					補修	点検	ひび割れ注入, 断面修復等
12	28	第3児玉BO橋	その他	一本木朝日線	17.1	1995	28	A	23	R05	Ⅱ						点検				補修		点検	ひび割れ注入, 断面修等
13	29	故郷大橋	その他	児玉横根線	190.0	1997	26	A	22	R04	Ⅲ					点検		補修				点検		再塗装・床版補修等
17	50	昇龍橋	その他	三ツ谷普賢寺線	22.6	1995	28	A	22	R04	Ⅱ					点検						点検	補修	ひび割れ注入, 断面修復等
19	52	源平橋	その他	向原下橋沢線	16.0	1964	59	A	23	R05	Ⅲ	補修	補修				点検						点検	防水工, 舗装打換, 下部工補修等
20	61	軽井沢大橋	その他	森泉追分線	110.0	1969	64	A	22	R04	Ⅲ	補修	補修			点検						点検		ひび割れ補修・断面修復など

※1 故郷大橋は令和5年度予算での補修となるため、本表からは除外している。

※2 定期点検費用を含む。

※3 本表で計画対象外の橋梁は、今後の点検結果を踏まえ2034年度以降に計画する。

※4 鉄道を跨ぐ橋梁の補修は、鉄道管理者と協議の上で適宜計画・実施する。

5) 次回以降の点検時期の計画

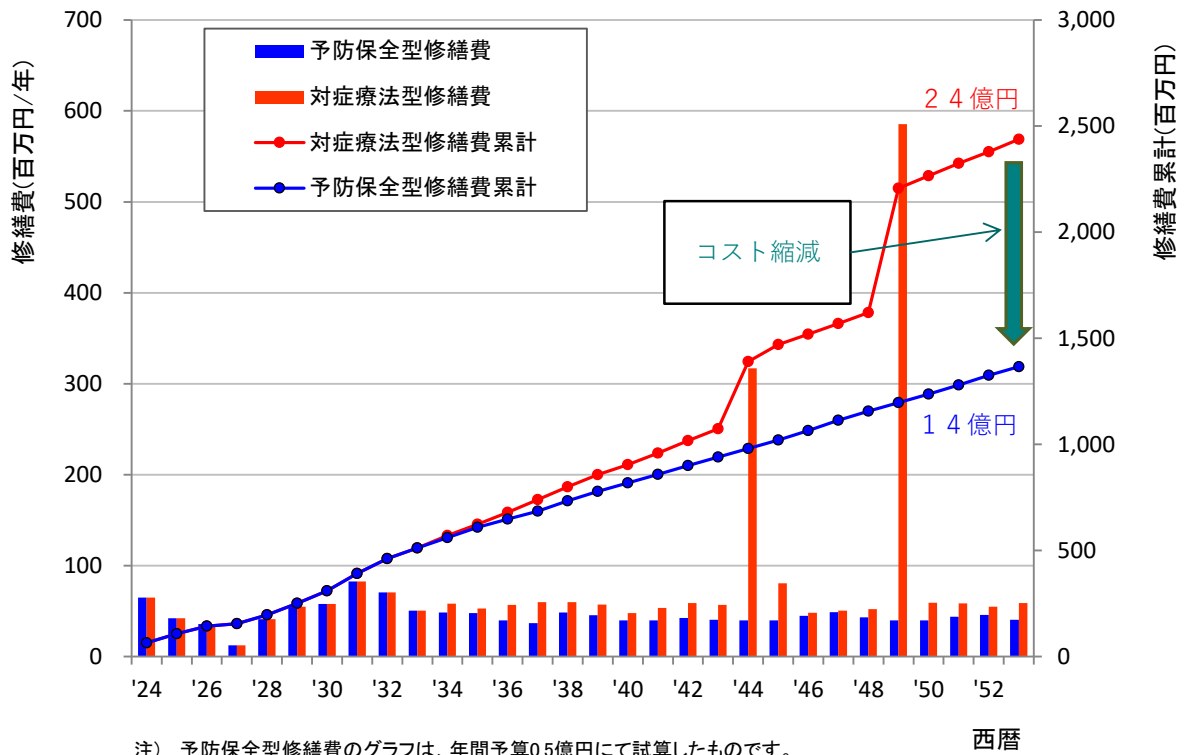
橋梁 番号	橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	グル ープ	点検年度		点検 判定	点検計画(対象橋梁56橋)									
								西暦	和暦		'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33
											R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
1	新大谷地橋	1級	塩野御代田(停)線	10.4	1999	24	A	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
2	新三ツ谷橋	1級	塩野御代田(停)線	27.2	2000	23	A	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
3	栄橋	1級	小田井追分線	14.0	2014	9	A	'23	R05	Ⅲ					点検					点検
4	露切橋	1級	向原豊昇線	41.3	1964	59	A	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
5	大門橋	2級	真楽寺大門寺線	2.3	1970	53	B	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
6	大谷地1号橋	2級	大谷地線	6.6	1959	64	B	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
7	大谷地2号橋	2級	大谷地線	6.3	1959	64	B	'20	R02	Ⅰ		点検						点検		
8	大谷地橋	2級	国道大久保線	7.4	1955	68	B	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
9	第2児玉BO橋	2級	面替児玉線	12.5	1995	28	A	'23	R05	Ⅱ					点検					点検
10	第2児玉BOX橋	2級	面替児玉線	6.7	1995	28	A	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
11	面替橋	2級	面替児玉線	32.2	1959	64	B	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
12	向原2号橋	その他	向原29号線	4.9	1995	28	C	'20	R02	Ⅰ		点検					点検			
13	向原橋	その他	向原11号線	12.5	1965	58	A	'23	R05	Ⅱ					点検					点検
14	草越1号橋	その他	草越茂沢線	6.9	1960	63	C	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
15	山田橋	その他	山田荒沢線	3.7	1984	39	C	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
16	西坂橋	その他	南田西坂線	4.5	1960	63	C	'22	R04	Ⅰ				点検					点検	
17	久能沢橋	その他	豊昇久能沢線	4.5	1960	63	C	'21	R03	Ⅱ			点検					点検		
18	桐山沢橋	その他	豊昇久能沢線	5.5	1955	68	C	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
19	湯川橋	その他	面替黒岩線	33.5	1983	40	B	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
20	面替1号橋	その他	面替区内1号線	1.9	1986	37	C	-	-	-	管理橋梁より除外									
21	籠田橋	その他	須加沢籠田線	2.3	1960	63	C	'20	R02	Ⅱ		点検					点検			
22	神明橋	その他	神明下ノ駅線	7.0	1996	27	C	'20	R02	Ⅰ		点検					点検			
23	岩下1号橋	その他	辰巳畑岩下線	5.6	1960	63	C	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
24	岩下2号橋	その他	辰巳畑岩下線	5.0	1960	63	C	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
25	第4児玉BO橋	その他	児玉唄坂線	18.3	1994	29	A	'23	R05	Ⅱ					点検					点検
26	第5児玉BO橋	その他	児玉唄坂線	18.3	1994	29	A	'23	R05	Ⅱ					点検					点検
27	第1児玉BO橋	その他	側道大塚東林線	12.5	1994	29	A	'23	R05	Ⅱ					点検					点検
28	第3児玉BO橋	その他	一本木朝日線	15.3	1995	28	A	'23	R05	Ⅱ					点検					点検
29	故郷大橋	その他	児玉横根線	190.0	1997	26	A	'22	R04	Ⅲ				点検					点検	
30	川原田橋	その他	川原田寺沢線	2.5	1975	48	C	'19	R01	Ⅰ	点検					点検				
35	蟻ヶ沢橋	その他	御代田連絡線	10.9	1959	64	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
36	塩野山橋	その他	御代田連絡線	18.4	1955	68	B	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
37	西二ツ石橋	その他	西二ツ石線	6.0	1960	63	C	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
38	戻場橋	その他	戻場北側線	3.1	1960	63	C	'21	R03	Ⅱ		点検					点検			
39	道陸1号橋	その他	道陸神戻場線	6.6	1959	64	C	'20	R02	Ⅰ		点検					点検			
40	道陸2号橋	その他	道陸神戻場線	6.0	1960	63	C	'20	R02	Ⅰ		点検					点検			
41	道陸3号橋	その他	道陸神戻場線	4.0	1960	63	C	'20	R02	Ⅰ		点検					点検			
42	北久保橋	その他	北側北久保線	6.6	1960	63	C	'22	R04	Ⅰ				点検					点検	
43	針木沢1号橋	その他	針木沢線	5.6	1970	53	C	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
44	針木沢2号橋	その他	針木沢線	5.5	1970	53	C	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
45	針木沢3号橋	その他	針木沢線	5.5	1970	53	C	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
46	細久保橋	その他	北側細久保線	6.0	1960	63	C	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
47	北側1号橋	その他	北側東向原線	7.6	1997	26	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
48	北側2号橋	その他	北側東向原線	6.7	1997	26	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
49	東原1号橋	その他	東原1号線	8.5	1959	64	C	'20	R02	Ⅰ		点検					点検			
50	昇龍橋	その他	三ツ谷普賢寺線	22.6	1995	28	A	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
51	清万橋	その他	清万一里塚線	14.0	1965	58	B	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
52	源平橋	その他	向原下橋沢線	16.0	1964	59	A	'23	R05	Ⅲ					点検					点検
53	向端1号橋	その他	根岸向端線	4.6	1959	64	C	'21	R03	Ⅰ			点検					点検		
54	向端3号橋	その他	根岸向端線	2.6	1959	64	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
55	向端2号橋	その他	根岸向端線	2.9	1959	64	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
56	三ツ谷橋	その他	国道三ツ谷線	6.5	1959	64	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
57	南浦橋	その他	南浦2号線	1.7	1959	64	C	-	-	-	管理橋梁より除外									
58	濁川橋	その他	三ツ谷馬瀬口線	5.4	2016	7	C	'22	R04	Ⅱ				点検					点検	
59	蛇谷地橋	その他	蛇谷地国道線	2.3	1959	64	C	'19	R01	Ⅱ	点検					点検				
61	軽井沢大橋	その他	森泉追分線	110.0	1969	54	A	'22	R04	Ⅲ				点検					点検	
全56橋中の各年度橋梁点検数 =											8	9	8	21	8	8	9	8	21	8

6. 長寿命化修繕計画による効果

今後30年間に於ける、橋梁長寿命化修繕計画に伴うコスト削減効果を下図に示します。

予防保全型の維持管理によって、従来の対症療法型維持管理に比べて、30年間では10億円の
コスト削減効果が見込まれます。

・対症療法型修繕費の累計	24 億円
・予防保全型修繕費の累計	14 億円
差 額 (削減効果)	10 億円 (42% の削減)



7. 計画策定部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

御代田町 建設水道課 建設係 TEL 0267-32-3129

2) 意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

長野工業高等専門学校 環境都市工学科 工学博士 遠藤典男 教授